

旅するみさとブックライブラリー事業

—No.32 三郷市—

【事業の目的】

読書環境を整備するとともに、読書活動を通し、すべての市民の多様な交流が育まれるまちづくりを推進することを目的としている。

【事業の内容】

本を積んだラッピングカー（ふれあいブックワゴン）で市内の保育所や幼稚園、老人福祉センター等に本を届け、図書館司書が本の紹介や読み聞かせイベント等を行い、読書機会を提供する。

【事業年度】

令和2年度から

【予算額(千円)】

3,460千円（令和2年度）

【財源】

一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

「日本一の読書のまち」を宣言している三郷市では、日頃、図書館や図書室等へ来られない方々に読書機会を提供することと、市で所蔵する図書という知の財産を市全体で活用するため、本を積んだラッピングカーで市内の保育所や幼稚園、高齢者施設等に本を届け、図書館司書が現地において本の紹介や読み聞かせイベント等を行うこととした。

【事業のPRポイント】

- ・日頃、図書館や図書室等へ来られない方々にも本と出会う機会を提供することができる。

- ・市の財産（所蔵する図書）を有効活用できる。

【事業実績・成果・今後の展開】

〈令和2年度〉

- 上口保育所で園児（5歳児）を対象に、ふれあいブックワゴンのお披露目及びおはなし会（手遊び含む）を実施。また、図書の団体貸出（1か月間）を行った。
- 丹後小学校卒業生が三郷市へ寄贈した図書の一部をふれあいブックワゴンで丹後小学校へ運び、児童に同校出身者の活躍を伝えるとともに、図書館司書により寄贈された図書の紹介を実施した。
- 埼玉みさと総合リハビリテーション病院が利用者に読書機会を提供するために院内にふれあい文庫（身近な場所で本を借りられる本棚）を設置したいとの要望があり、ふれあいブックワゴンで市民からの寄贈本を届けた。
- みさと幼稚園に対して図書館司書が選んだ本100冊を1か月間貸し出した。
- 彦沢老人福祉センターに設置されたふれあい文庫に本を届けた。

〈今後の展開〉

今後も、日頃、図書館や図書室等へ来られない方々に読書機会を提供するため、市内各所に本を届けるとともに、各種イベントでの活用を予定している。



【参考資料】

プレスリリース「ふれあいブックワゴンをお披露目～市内施設に本をお届けします～」

〔 連絡先 〕

日本一の読書のまち推進課 企画推進係 048(930)7818



三郷市 Misato City

ふれあいブックワゴンをお披露目 ～市内施設に本をお届けします～

「日本一の読書のまち」を宣言している三郷市では、市が所蔵する図書という知の財産を市全体で活用するため、本を積んだラッピングカーで市内の保育所や幼稚園、老人福祉センター等に本を届け、図書館司書が本の紹介や読み聞かせイベント等を行い、日頃、図書館や図書室等へ来られない方々にも、読書機会を提供します。



【ふれあいブックワゴンのお披露目】

- | | |
|-----|---|
| 日 程 | 令和2年11月20日（金）午前10時～11時 |
| 場 所 | 上口保育所（上口一丁目208番地） |
| 出席者 | 木津市長、有田教育長、上口保育所園児（5歳児、18名）
ほか |
| 内 容 | （1）セレモニー（ふれあいブックワゴンのお披露目）
（2）図書の団体貸出（1か月間）
（3）おはなし会（手遊び含む）
（4）記念撮影 |

【事業展開】

- ・保育所や幼稚園、老人福祉センター等へ訪問し、本を団体貸出（1か月間）する。
- ・市のイベント＜11月29日（日）リサイクルブックフェア（会場：青少年ホーム）、令和3年3月20日（土、祝）読書イベント（会場：におどり公園及び三郷中央におどりプラザ）等＞に参加し、本の紹介や読み聞かせなどして図書館の利用促進や読書の動機付けを行う。
- ・小中学校へ学習に必要な資料（参考図書）を届ける。

＜この情報提供に関するお問い合わせ＞

・三郷市生涯学習部 日本一の読書のまち推進課 TEL048-930-7818